

# H23年度 実施事業の成果



## テレメトリー調査（発信器活用の取り組み）

### ① テレメトリー調査とは…

専用の電波発信器をサルに装着し、発信する電波を受信することで、サルの位置や行動範囲を遠隔地から収集する調査をいいます。

### ② 調査データの活用方法は…

サルは群れで行動するため、群れの行動パターンを調査することができ、調査した行動パターンにより、おおよその出没予測をすることが可能になります。

この出没予測を基に、追い払いや捕獲（駆除）を計画的にできることや、サル群れを管理し適正な頭数管理を行うことが出来るようになります。（調査データは随時公表します）

### ③ 村上市全域でテレメトリー調査を開始しました

平成23年10月24日から12月8日の間、猟友会の協力を受けテレメトリー調査を開始するため、捕獲檻を使用しメスザルの捕獲を開始しました。この間に捕獲したメスザルの頭数は4頭で、全てのサルに発信器を装着し群れにかえました。（発信器を装着した群れは図1参照）

発信器装着日以降、試験的にテレメトリー調査を開始（図2、調査データ参照）し、平成24年度以降継続して調査を実施することとしております。

なお、村上市全域には20群以上生息していると思われ、全群に発信器を装着し調査（管理）を行う予定としています。

図1、発信器装着群全図

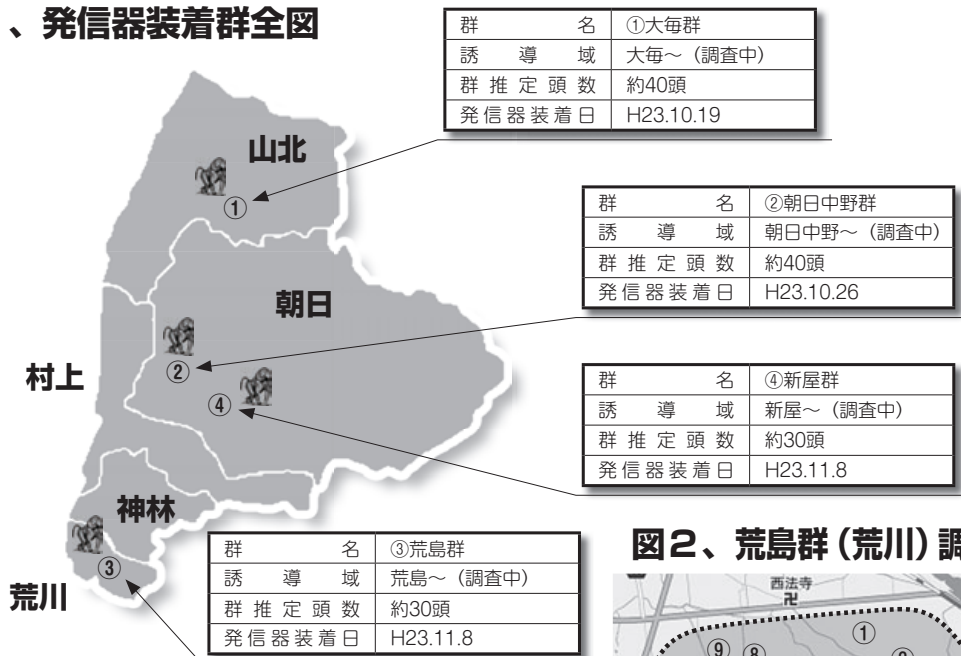


図2、荒島群（荒川）調査データ



◀装着した発信器  
LT01（CH1～CH5）